

漁民らが団交場を包囲

唐ガラシで狸いぶし

水 俣 騷 動

日室の1300万円回答に怒り

水俣漁協の多く漁民被補償一億円を要求中の同漁協組合員百人は昨日昼水俣事務所と十七日午後二時半から同市昭和町尚和会館で四回目的団交を行なったが、工事が三日五日を回答したため漁民はこれを拒否、同会館を前に待機中の約百人が同会館から乱入、玄關やドアのガラスなどを割り、水俣署から柿山署長以下一個小隊がつけつけ待機、事態の収拾にあたったが、同夜十一時漁民は待機を再開してトウガラシやコシヨウなどをたたき、工事関係者や警備隊に約百人をワンダにし、てまたまいぶしけるなど水俣騒動は最悪の事態をなした。

この日午後二時半西田 専長から 当と能め田解決を願うあまりこゝろ五日の漁民、工場側同の ねに三百万円を揃えるが、これは最後の回答であるかと案文を交換するが、捕獲は一千円が適



尚和会館になだれこむ漁民たち=水俣

二時七分交渉委員から玄關前で待機中の組合員へこの旨を伝えたところ、怒った漁民約百人は同会館から乱入、交渉中の「隠慮」けがありドアのガラスを割るなど大騒ぎとなり収拾がつかず、工場側は同二時半交渉打ち切りを声明、漁民側も一たん退場した。いっぽう同二時半過ぎ水俣署の一個小隊が到着して前進待機、同五時五分から柿山署長が双方に対しお互いに田解決を願う旨を交換して、要約、工場、漁民別個に話し合いに入り、同夜でも絶対にいまのような行

動は望んでおられない。暴力は絶対に許されないと、交渉は交渉委員だけでおこなうつもりと、怒った漁民約百人は同会館から乱入、交渉中の「隠慮」けがありドアのガラスを割るなど大騒ぎとなり収拾がつかず、工場側は同二時半交渉打ち切りを声明、漁民側も一たん退場した。いっぽう同二時半過ぎ水俣署の一個小隊が到着して前進待機、同五時五分から柿山署長が双方に対しお互いに田解決を願う旨を交換して、要約、工場、漁民別個に話し合いに入り、同夜でも絶対にいまのような行

同七時過ぎ同調査と工場側に対し漁民側から交渉に申し出てもらいたいと申し入れたが、工場側は「き」といふので交渉は不可行だから事態が正格に復し時期がきたら騒動をもつて田解決を努力したい」と答へ、この日朝上 専長から漁民に伝えたところ、漁民は納得せず玄關前で声をあげていたが同夜十一時すぎ漁民たちはついに同会館を包囲、各入口をそれぞれで同前でもトウガラシやコシヨウをたたき、工事関係者はじめ待機中の同警一個小隊、報道陣を約百人をかん詰し激怒をあげた種いぶしをかけた事態は最悪の状態となった。なお同日の騒ぎで同工場守備広田昭三(同中野)と二人、漁民一人がガラスなどの破片で怪傷を負った。